

震災から十二年！

なぎさ小 六一二 内海 雄太

神戸で震災が起きたのは一九九五年一月十七日午前五時四十六分。ぼくはその約三ヶ月前に生まれました。

その時、ぼくは神戸ではなく福岡に住んでいました。福岡までは地震はこなかっただけで、たみたことでも知り、お母さんに震災のことで聞く当時、神戸はとても大きな被害を受け、多くの人が建物がなくなりました。阪神・淡路大震災の事

を話しているとても悲しうでした。十二年たつた今でも、震災によつてうけた体や心の傷は直ることはありません。

ぼくが震災にあつた人々へできることは大人の人よりもはかぎらえていると思います。す。だけれど、助けたいという気持ちにはまけてないと思います。これから、人を助けるといふことが、思いを助けるため、がんばりたりと思ひます。